

市民の半数以上「ジェンダーをまったく知らない」

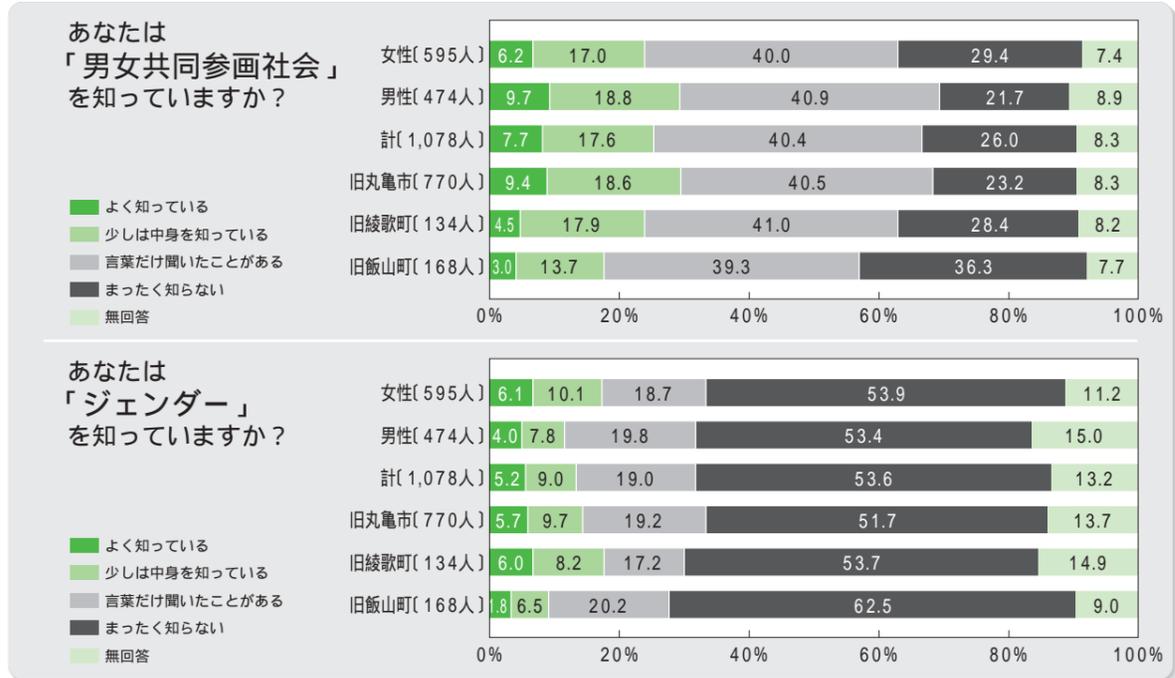
市やゆめネットワークでは、情報紙の発行や講演会の開催など様々な啓発活動を行っていますが、参加していただける人はそう多くはありません。女性も男性も、若い人もお年寄りも、もっとたくさんの人に参加してもらって、広がりのある活動になるよう工夫しなければなりません。

丸亀市は、昨年9月「男女共同参画に関する市民アンケート」の結果を公表しました。それによ

ると「男女共同参画社会」をまったく知らない人は26.0%、「ジェンダー」をまったく知らない人は53.6%、という結果が出ています。

また、旧丸亀地区より綾歌・飯山地区のほうが知らない人の割合が高いという結果も出ています。

これからも人のつながりや地域の広がりを大切にして、効果的な啓発活動を進めていきたいと思



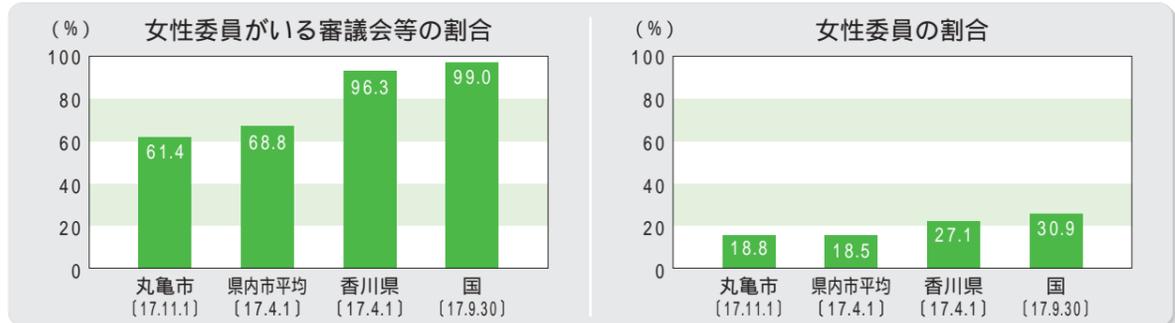
【ジェンダー】社会的・文化的に形成された性別。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会や文化によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、人々は成長するにつれ「男性に期待される行動」「女性に期待される行動」を行うようになります。このようにして形成された男性・女性の別をジェンダーといいます。

まだまだ少ない政策方針決定の場への女性参画

男女共同参画社会の実現のためには、政策や方針を決定する過程に女性の意見が反映されなければなりません。市の行動計画である「男女共同参画プランまるがめ」には、平成22年度までに審議会等委員への女性登用率40%以上、女性のいない審議会等の解消、という数値目標が掲げられていますが、まだまだ遠いのが現状のようです。

国では、昨年9月30日現在で女性委員の割合が30.9%となり、平成17年度末までのできるだけ早い時期に30%以上にする、という目標を達成しました。

丸亀市の目標は達成できるでしょうか？ 私たち市民が関心を持って見ていかなければならないと思います。



コミュニティで男女共同参画セミナー

コミュニティセンターで男女共同参画セミナーを開催していることをご存知ですか？身近なところで気軽に男女共同参画を学んでもらおうと、希望するコミュニティに市が講師を派遣しています。

今年度は9地区で開催されました。なかでも10月13日の綾歌町富熊コミュニティでは、かがわ男女共同参画推進員の木戸みどりさんが「世界ふしぎ発見 モンゴル・北欧等旅日記」と題して講演し、100人近くの参加がありました。

講師のみなさんもいろいろと工夫して話していただきますので、とても楽しく聴くことができます。ぜひ一度参加してみてください。



ゆめネットワークセミナー 市議を囲んで

10/6 栗熊コミュニティセンター
10/19 飯山市民総合センター分館



飯山市民総合センターで

新しい丸亀市の全域において、男女共同参画についてみんなで考えようとセミナーを開催しました。丸亀市議会の3人の女性議員を囲んで、新市における男女共同参画の取り組みやまちづくりについて様々な意見交換を行いました。

子育て中の母親、地域で活躍されている方が参加され、男性や幅広い世代の意見が伺えました。市議も市民も、老いも若きも、女性も男性も、同じ市民として新しい丸亀市のまちづくりに意見を出し合える場は活気にあふれました。市議からは、男女共同参画のまちづくりに取り組む発言があり、心強い限りでした。ゆめネットワークも新市全域に活動の輪を広げ、新たな仲間とともに男女共同参画社会の実現を目指したいと意を決しました。

ゆめネットワーク講演会 仕事と家庭の両立できる 社会を目指して

9/4 生涯学習センター

日本航空客室乗務員の小出亜津子さんから、女性が子育てをしながら仕事と家庭生活を両立させることが極めて困難な状況を伺いました。驚くばかりの勤務実態、家事、育児、介護など家庭での重責を負いながら仕事を続ける大変さ、企業も含めた社会的な子育て支援を切望する女性たちの悲鳴、パート労働など女性の働き方の問題など。実際苦勞されている本人の口から淡々と語られる痛みは、同じ時代を生活している者の心に突き刺さりました。

仕事内容や性別にかかわらず、生きがいをもって働きながら、安心して育児や介護などの家庭生活が送れる社会になるように、私たちにできることから実行していかなければならないと痛感しました。

「子どもは親の宝」とよく言われますが、子どもは社会の宝でもあるのです。まだまだ「子育て=女性(母親)の仕事」の考え方が蔓延していますが、「子育て=社会の責任」の意識が常識になってほしいものです。



ゆめの部屋へ 来てごらん!

生涯学習センター5階の「ゆめの部屋」には、男女共同参画の情報や本・ビデオなどがあります。時々、楽しいイベントも開催しています。

自然の素材で手作り工作 (11/5)
小枝や松ぼっくり、木のチップなどを使って
ネイチャークラフトを行いました。



マイ箸作り (8/6)
山から切ってきたばかりの竹から箸を作りました。そして、モンゴルの割箸工場のスライドを見たりして、自然環境に優しい生き方を学びました。